令和⑤年度
学習院大学史料館
春季特別展

日本で最初の“学校制服”は
学習院から！

“ランドセル”も
学習院発祥！

「学習院 制服 事始」

ガクシュウイン
セイフク
コトハジメ

入場無料

学習院制服図
『学習院百年史』より

令和5年
2023

4.03 Mon …… 6.03 Sat

PLACE 学習院大学史料館展示室
（学習院大学 北2号館1階）

OPEN 月～土曜日＋4.16㊐（オール学習院の集い）
10:00 - 17:00

CLOSE 日曜日・祝日

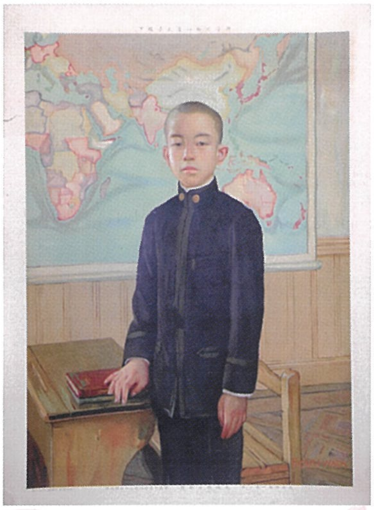
主催：学習院大学史料館　共催：一般社団法人 霞会館

令和⑤年度 学習院大学史料館 春季特別展

「学習院制服事始」

ガクシュウイン セイフク コトハジメ

迪宮裕仁親王（昭和天皇）所用東宮御学問所正服
大正3年頃



〔肖像画〕東宮御学問所正服着用の迪宮裕仁親王
（和田英作画「御学問所の皇太子殿下」
大阪朝日新聞附録
大正4年1月1日発行）

〔写真〕学習院正服着用の迪宮裕仁親王
大正元年

迪宮裕仁親王所用学習院正服
明治40年頃

※掲載資料はすべて当館蔵

学校制服の発祥：学習院

明治維新から10年の間に日本は西欧化に大きく舵をきり、様々な文物文化を導入しました。一番大きな変化は「見た目」、洋装の導入です。外国賓客に応対するため、また江戸時代の身分秩序を「見た目」から更改するために、洋装の「服制」（身分や階級を序列化した服装の制度）が制定されました。これが洋装礼服・正服の始まりで、明治5年（1872）にまずは官吏に導入されました。翌年には明治天皇も断髪し、天皇の礼服は洋装になりました。

服制は学校生活にも導入されていきます。**日本で最初に学校制服を採用したのは、学習院でした。**明治12年、当時の学習院次長・渡辺洪基の発案により、私費調製による制服が導入されます。制服着用により、経済格差が「見た目」に表れていることを解消する意図もありました。通学鞄である**ランドセルも学習院が発祥**となります。

学習院の制服は「正服」と称し、後に「海軍士官形」と呼ばれる立ち襟（詰襟）ホック掛けの紺色の上着で、140年余を経た現在もほとんど変わっていません。一方、**女子の学習院では和服に海老茶色の袴の制服**が教授下田歌子により考案され、明治時代の女子学生の代名詞的な服装となりました。明治20年よりは洋服の着用も認められ、大正14年（1925）よりセーラー服が導入され、現在に至っています。

学校制服の発祥である学習院の所蔵する、様々な正服・制服をご覧ください。

また、令和3-4年に制作された皇室のボンボニエールを特別出品いたします。

特別出品：皇室のボンボニエール

上皇陛下米寿記念、上皇后陛下米寿記念、
愛子内親王殿下成年記念　令和3-4年　個人蔵

学習院幼稚園制服（女子）
平成時代

〔写真〕学習院外套着用の
（山階宮／筑波）藤麿王
明治44年頃

関連講座 ： 第97回 学習院大学史料館講座

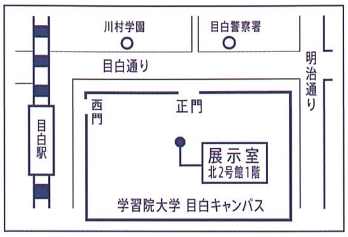
ONLINE LECTURE
「制服語り―学生時代の追憶と思い出の共有」
講師 ： 難波知子氏 （お茶の水女子大学准教授）

DATE **2023 4.03㈪ WEB上にて動画配信予定**

@g_shiryokan

学習院大学史料館

〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1
TEL 03-5992-1173
WEB www.gakushuin.ac.jp/univ/ua/



感染症対策へのご理解・ご協力をお願い申し上げます。ご来場の前には、当館のホームページ、ツイッター（QRコード）にて、最新の開催情報と感染症対策をご確認ください。